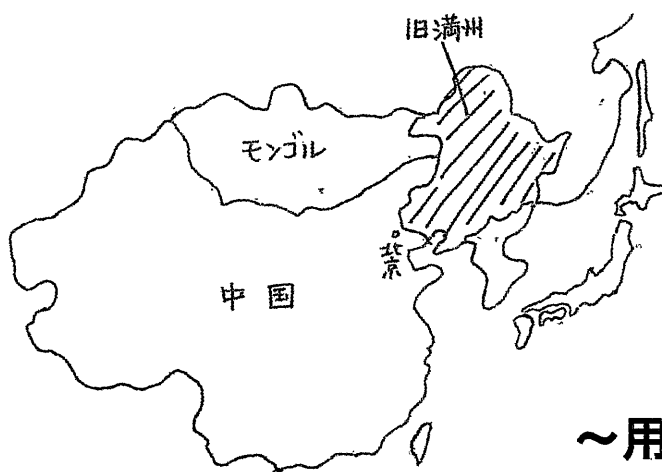




「満蒙開拓」って何？
「満州国」ってどこ？

～用語集～



◆満州国

1931(昭和 6)年の満州事変で関東軍(日本陸軍の満州駐留部隊)が主要都市を制圧し 1932(昭和 7)年 3 月に建国したもので、現在の中国東北地方に位置する。日本の敗戦とともに消滅。国土は日本の約 3 倍の面積があり、漢人をはじめ朝鮮人、ロシア人など様々な民族が暮らしていた。「清」最後の皇帝溥儀(映画『ラストエンペラー』のモデル)を元首としたが、政治の実権を握っていたのは日本であり権力の中枢には関東軍がいた。

◆^{まんもう}満蒙開拓団

「満州国」に送り出された農業移民。この地域をかつて日本は“満蒙”地域と呼んだ。蒙は内モンゴルの一部が含まれていたため。1936(昭和 11)年に「満州農業移民 100 万戸移住計画」という大量移民計画が国策となり、終戦までに日本全国から約 27 万人が渡っていった。貧しい農村部から村を挙げて送り出す“分村”や、複数の村が送り出す“分郷”開拓団が多かった。

◆逃避行と収容所生活

終戦直前の 8 月 9 日、ソ連軍が満州へ侵攻。成人男性は軍に召集されており(根こそぎ動員)、開拓団に残されていた女、子ども、老人たちの逃避行が始まる。日本人に抑圧されたり土地を追い出された現地住民らの積年の恨みが開拓団や一般の日本人に向けられ、略奪や襲撃にあう。各地で集団自決なども起こり、さらに戦後の収容所生活の中、飢えや寒さ、病気で大勢亡くなる。開拓団約 27 万人のうち 8 万人が命を落とした。

◆阿智郷開拓団

旧会地村、伍和村、山本村で編成された開拓団。本隊は昭和 20 年の 5 月に渡って行った。

満州の最も北東に位置する未開の原野で他地域との交流はほとんどなかったという。

ほどなくソ連の侵攻で逃避行を余儀なくされ、8 月 24 日に佐渡開拓団跡で解団式を実施。

◆山本慈昭

阿智村、長岳寺の元住職。阿智郷開拓団の現地国民学校の教員として請われ、妻と娘2人を伴い本隊と一緒に昭和20年に満州へ渡る。逃避行の後、シベリアへ抑留され1947(昭和22)年に引き揚げ。戦後は中国残留孤児の肉親捜しに奔走し、「残留孤児の父」と呼ばれる。1990(平成2)年永眠。阿智村の名誉村民。

◆中国残留孤児、残留婦人

逃避行や収容所生活の中で中国人を頼ったり預けられるなどして妻や子どもになり、戦後も中国に残留を余儀なくされた人々。そのうち満13歳以上だった女性を残留婦人という。1972(昭和47)年、日本と中国の国交正常化以降、本格的な身元調査がはじまり帰国が進む。現在までに帰国したのは約6,700人。



—望郷の鐘—

思い出はかくも悲しきものか
祈りをこめて 精一杯つけ
大陸に命をかけた同胞からに
この鐘の音を送る 疾く暝せよ
日中友好手をつなぎ
共に誓って 悔を踏まじ
大陸に命をかけた同胞からに
夢美しく 望郷の鐘

(山本慈昭さんが「長岳寺」の鐘に刻んだことば)

